

森研第33号
令和7年6月18日

関係所属長 様
関係機関・団体の長 様
関係各位

岐阜県森林研究所長

令和7年度岐阜県森林研究所「研究成果発表会」の開催について

平素は、当所の試験研究業務の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、当所の研究成果発表会を下記のとおり開催いたしますので、多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

1. 開催日時および場所

日時：令和7年7月11日（金） 13：15～16：15（12：30より受付）

場所：わかくさ・プラザ 多目的ホール（関市若草通2丁目1番地）

※車でお越しの方は、できる限り乗り合わせをお願いします。

2. プログラム（発表の内容は別紙のとおり）

※ 時間は前後する場合があります

研究成果発表会「再造林の課題解決に挑む研究開発」

13:15～13:20 開会・あいさつ

13:20～13:45 発表1 災害に強い森林作業用道路の整備適地がわかりやすい
地図の活用方法

臼田 寿生

13:45～14:10 発表2 低コスト再造林に貢献するヒノキコンテナ苗育成技術

茂木 靖和

14:10～14:25 休憩

14:25～14:50 発表3 構造の異なる3種類のツリーシェルターを施工したスギ苗木の
形状の違いとそれらの管理方法

片桐 奈々

14:50～15:15 発表4 ～長野県との交流発表～生分解性の単木防護資材での
再造林は、環境にどこまで優しくなるのか

長野県林業総合センター 小山 泰弘

長野県工業技術総合センター 柏木 章吾

15:25～16:15 長野県林業総合センターと岐阜県森林研究所の研究成果の紹介
（ポスター発表）

16:15 閉会

3. 定員：150人程度（参加無料）

4. 申込み方法

LoGoフォームまたはFAXにて次の事項を下記あてに送付してください。

○ 氏名

○ 所属（ある場合）

○ 連絡先（電話番号、メールアドレス）

- ・別紙2に申込用紙を示します。ただし、上記の内容を明記していただければ様式は問いません。
- ・申込時に収集した個人情報は、当発表会の運営目的の範囲内で利用いたします。当該目的以外で利用することはありません。

LoGoフォーム URL：https://logoform.jp/form/T8mB/1068234

FAX送付先 森林研究所 0575-33-2584

申込み期限：令和7年7月4日（金）



LoGo フォーム
QR コード

5. 問い合わせ先

- ・岐阜県森林研究所（〒501-3714 美濃市曾代1128-1）
- ・担当：臼田・田中
- ・電話：0575-33-2585 FAX：0575-33-2584
- ・電子メール：info@forest.rd.pref.gifu.jp

○口頭発表**発表1 災害に強い森林作業用道路の整備適地がわかりやすい地図の活用方法**

森林資源部 森林資源部長 臼田 寿生

当所では、気候変動にともなう災害リスクに対応した森林作業用道路の整備を支援するため、デジタル技術を活用した災害に強い道路整備の適地がわかりやすい地図を開発し、令和6年4月に当所のウェブサイトで公開しました。この取り組みは、内閣府の第4回Digi田甲子園において内閣総理大臣賞を受賞するなど有識者等から高い評価をいただき、道路整備の現場においても成果の活用が進んでいます。本発表では、研究成果を活用した道路整備の実例とあわせて具体的な地図の活用方法を紹介します。

キーワード：路網整備、山地災害、地形、土石流、地図**発表2 低コスト再造林に貢献するヒノキコンテナ苗育成技術**

森林環境部 主任研究員 茂木 靖和

戦後造林された人工林を中心に本格的な利用期を迎えています。しかし、再造林がネックとなり、主伐が先送りされています。再造林のハードルを下げるには、コストの低減が有効です。今回は、本県で最も植栽されているヒノキについて、苗育成の視点から再造林コストの低減に繋がる取り組みを紹介します。

キーワード：ヒノキコンテナ苗、低コスト再造林、苗育成、植栽後の成長、苗選択**発表3 構造の異なる3種類のツリーシェルターを施工したスギ苗木の形状の違いとそれらの管理方法**

森林環境部 専門研究員 片桐 奈々

現在、市販されている獣害対策資材のツリーシェルター（以下、シェルター）には、様々な仕様のものがあります。岐阜県内におけるスギ植栽地2カ所で、植栽から6年間、異なる構造のシェルター3種類を設置した苗木の成長経過を調査してきたところ、シェルターの構造ごとで、スギ苗木の形状が変わることがわかってきました。また、一部のシェルター構造がもたらすスギの形状は、積雪による曲がりや倒伏、斜立を引き起こしやすいことがわかりました。これらの結果と、結果から考えられるシェルターの管理方法について紹介します。

キーワード：ツリーシェルター、スギ、管理方法、積雪地**発表4 ～長野県との交流発表～**

生分解性の単木防護資材での再造林は、環境にどこまで優しくなるのか

長野県林業総合センター 育林部 小山 泰弘

長野県工業技術総合センター 材料科学部 柏木 章吾

獣による食害から植栽木を守るための防護資材。その中には、自然分解し撤去の手間が不要な生分解性のものがあります。今回は、3種類の防護資材の3年経過後の状況について、生分解性と非生分解性とで比較したので、資材設置後のカラマツの成長とあわせて報告します。

キーワード：ニホンジカ被害、マイクロプラスチック、カラマツ、主伐再造林、成長

○ポスター発表

成長の早いヒノキ実生コンテナ苗の性能を最大限に引き出す再造林手法を考える

主任専門研究員 渡邊 仁志

間伐が水源かん養機能におよぼす効果について～8年間の調査結果～

専門研究員 久田 善純

再造林地の植生によって下刈りが必要な年数は変わるのだろうか？

研究員 宇敷 京介

ハナノキを加害する特定外来生物ツヤハダゴマダラカミキリ

主任専門研究員 大橋 章博

森林作業道の損壊発生リスクを評価する地図の作成

専門研究員 和多田 友宏

シイタケ発生への夏場の温度上昇の影響について

専門研究員 上辻 久敏

ヒノキ心持ち正角3段接着重ね材の曲げ強度性能の検証

主任研究員 田中 健斗

国産黒トリュフの継続発生に成功しました

主任専門研究員 水谷 和人

長野県林業総合センターポスター発表（2題程度）

岐阜県森林研究所「研究成果発表会」 令和7年7月11日（金）開催

参 加 申 込 書

ご所属 : _____

(連絡窓口となる方のお名前) : _____

電話番号 : _____ FAX 番号 : _____

メールアドレス : _____

参 加 者 の お 名 前

- ・ L o G o フォームまたは F A X でお申し込みください。
- ・ 必要事項が記入してあれば、この様式によらなくても結構です。
- ・ 申込時に収集した個人情報は、当発表会の運営目的の範囲内で利用いたします。当該目的以外で利用することはありません。

送付先 岐阜県森林研究所

L o G o フォーム URL : <https://logoform.jp/f/KrGX0>

F A X : 0 5 7 5 - 3 3 - 2 5 8 4

申込み期限 : 令和7年7月4日（金）

